

岩木川ダム 統管だより

042号
2020年
10月30日



黒石市で防災通信訓練を実施

▲訓練のため、岩手河川国道事務所から『対策本部車』(左)と『衛星通信車』(右)が黒石市役所に配備されました。

令和2年10月7日(水)、黒石市、東北地方整備局、青森河川国道事務所、高瀬川河川事務所及び岩木川ダム統管理事務所が協力し、黒石市役所と道の駅『虹の湖』を会場に“防災通信訓練”を実施しました。

訓練は、青森県内の防災用通信機材を取り扱う職員等を対象に情報伝達及び機器操作訓練を行い、災害時においてあらゆる状況に応じた防災機器に精通し、緊急時の事務所間の協力体制及び連携作業の有効性、初動体制時のスキル向上を図ることを目的として行われました。また、自治体に対する通信手段の確保及び映像配信訓練を実施し、国土交通省が保有する通信機器の利用と災害情報提供による支援体制の連携を図りました。

協力自治体として参加していただいた黒石市の高樋憲市長は、通信手段の確保および映像配信訓練に参加し、「映像がはっきりと見え、参考になった。災害などは無いに越したことはないが、有事の際には国の支援・協力をいただくことで市民も安心できると思う。大変心強い。」と、感想を話されました。
(次ページへ続く)



▲対策本部車内でテレビ会議を行う高樋憲黒石市長

今回使用した通信機器の一部をご紹介します!



①表紙にも登場した『衛星通信車』。通信設備、映像設備及び発電設備を搭載した車両です。災害現場や自治体等に出勤し、被災地からの映像配信や電話連絡等の通信回線を通信衛星を介して確保します。



②無人飛行機(ドローン)。災害現場の映像を上空から撮影します。



③公共BB(公共ブロードバンド移動通信システム)。移動しながら被災地の映像を配信します。



④Ku-SAT(衛星小型画像伝送装置)。車両の乗り入れが困難な場所に持ち込み、組み立てることで、被災地の映像配信や電話連絡等の通信回線を通信衛星を介して確保します。今回は公共BBとドローンの映像を配信しました。

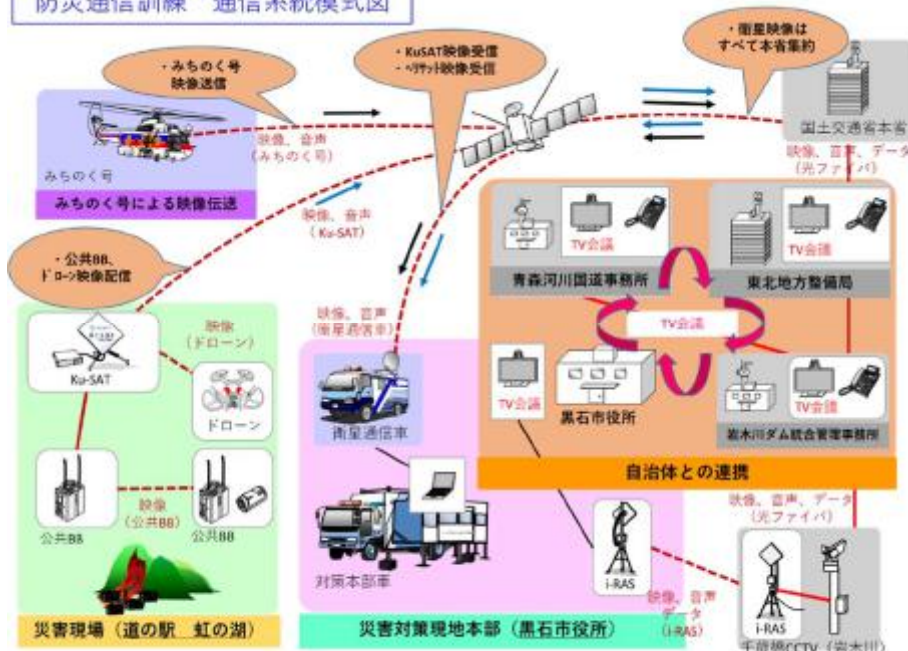


⑤i-RAS(5GHz帯無線アクセスシステム)。災害現場や自治体に出動し、被災地の映像配信や電話連絡等の通信回線を直接接続し確保します。



⑥『みちのく号』。上空を移動しながら映像を衛星回線で配信します。

防災通信訓練 通信系統模式図



▲ドローンからの映像配信を確認する高橋黒石市長。高度やどのくらい遠くまで飛べるのか等、詳細に確認されました。



現場レポート第9弾



～浅瀬石川ダム、堤体照明設備の点検に同行!～



今回レポートを担当した浅瀬石川ダム管理支所 期間業務職員の佐藤です。初めて見る光景に感動しました！

- 日時：令和2年10月12日(月)、14日(水)
- 場所：浅瀬石川ダム



▲ 試験点灯！照射状況をCHECK！



高所での点検作業！安全に気をつけて！

秋のライトアップのため、浅瀬石川ダムの堤体照明設備を点検 初めて見る上流の試験点灯は圧巻の美しさ！

浅瀬石川ダムには、夜間に大きな地震や洪水などの災害が起きた時、堤体の被害を迅速に点検・発見できるように、上流と下流側それぞれに「堤体照明」が設置されています。

イベントのライトアップでは下流側の堤体照明設備を点灯させますが、17日からの秋のライトアップの準備に合わせて、上流側の堤体照明設備も点検することになりました。

上流の試験点灯を見るのは初めてなので楽しみです♪

■ 10月12日 試験点灯

上流側の堤体照明が問題なく点灯するか“試験点灯”を行います。

管理支所内の操作スイッチを押し、左岸側と右岸側に設置された6個の水銀灯を点灯させます。

堤体は、両岸からまんべんなく照らされ、夜間でも日中と変わらぬ明るさです。管理支所からコンクリートの状態も確認できます。

照射の角度にも問題はなく、約1時間で試験点灯を終了しました。

■ 10月14日 照明灯を確認

左岸側に設置された照明設備を点検しました。高所のため、安全面には特に注意を払いながらの点検です。管理第二係長が照明盤や照明灯を確認しました。



今回の取材では、上流のライトアップの美しさに終始魅了されました！しかし、本来は夜間の災害に備えた設備。実際に災害が起きたら、美しさなど感じられません。万が一の災害を想定した備えがとても大切なことを改めて実感しました。

※10月17日から予定していた秋のダムライトアップは、開催延期となりました。



夜間の災害に備えた重要な設備なんだね！

浅瀬石川ダム
イメージキャラクター
あつちゃんといく

黒石
ウォーキングクラブ
による

津軽白神湖ウォーク



令和2年10月11日(日)秋晴れの朝、黒石ウォーキングクラブ会員のみなさんが、水源の里『西目屋』で秋の風情を楽しみたいと「津軽白神湖ウォーク」を行いました。Aコースは、津軽白神湖パークから津軽ダムを經由して白神館まで12.5kmの健脚チーム11名、Bコースは同じく津軽白神湖パークから津軽ダムまで5kmを歩き、ダム見学後、バスで白神館へ移動の35名、の2つに分かれて行われました。私は主にAコースに同行させていただきました。

Aコースでリーダーを務められた三浦さんからは、「ダム湖を眺めながらのこのコースは、以前にも利用したことがあり、また他のウォーキングクラブにも利用されている人気のコースです。今日は、Aコース11名が全員一緒にゴール出来、よいウォーキングになりました。」とコメントをいただきました。

黒石ウォーキングクラブは、平成14年から活動を開始し、今年で19年目。4月から12月まで毎月1回、各地を訪れ、ウォーキングで四季折々の景色を楽しんでいるそうです。広報担当としては、完歩証に津軽ダムの写真が使われていて嬉しかったです。



▲津軽白神湖パークを出発し、途中休憩場所の津軽ダムへ向かいます。



▲津軽ダムにて、暫し休憩タイム



▲「黒石ウォーキングクラブ」の旗。デザインに地元愛を感じます

←完歩証の2枚の写真のうち、右が「津軽ダム」

編集後記

10月に入り、弘前保健所管内の新型コロナウイルス感染症の感染が急拡大しており、予定していた「秋のダムライトアップ」は開催延期といたしました。楽しみにしていただきた方々へは、大変申し訳ございません。

今後もイベント等の開催等については、ホームページやツイッターでお知らせいたしますので、来訪の際には事前にご確認いただくと便利です。

今は、感染症の状況が落ち着き終息に向かうことを願うばかりです。皆様が元気でいられますように。

(森下)

編集・発行

国土交通省 東北地方整備局
岩木川ダム統合管理事務所

〒036-1422
青森県中津軽郡西目屋村大字居森平
字寒沢138-2

TEL 0172-85-3035
FAX 0172-85-3061



(ホームページ) (Twitter)

岩木川ダム統合管理事務所
ホームページアドレス
<http://www.thr.mlit.go.jp/iwakito/>
公式Twitter @mlit_iwakito